

議員提出議案第 6 号

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための
取組みを推進する決議について

上記の議案を、別記のとおり交野市議会会議規則第 14 条の規定により提出します。

決議案……別記

令和 4 年 3 月 2 日提出

提出者	交野市議会議員	岡田 伴 昌
賛成者	交野市議会議員	久保田 哲
賛成者	交野市議会議員	皿 海 ふ み

提案理由 北朝鮮による日本人拉致問題に対する市民の理解を深めるための取組みを推進することで、拉致問題解決の一助としたいため。

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組みを推進する決議案

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組みを推進する決議

平成14年9月の第1回日朝首脳会談において、朝鮮民主主義人民共和国（以下「北朝鮮」という。）は初めて拉致を認め謝罪し再発防止を約束、同年10月には、5名の拉致被害者が24年ぶりに帰国したものの、安否不明（国が認定している12名）の方々については、未だに北朝鮮当局から納得できる説明がされておらず、今なお北朝鮮に囚われたままの状態です。

日本政府は、帰国した5名を含む17名を北朝鮮当局による拉致被害者として認定していますが、この他にも、日本国内における日本人以外（朝鮮籍）の拉致容疑事案や、「いわゆる特定失踪者も含め拉致の可能性を排除できない事案がある。」とし、拉致の可能性を排除できない失踪者は900名近くいると言われ、大阪府内での特定失踪者として19名がリスト公開されています。

国においては、北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、国の責任において解決すべき最重要課題と位置付けています。そして、その解決のためには、世論の一層の喚起が不可欠であり、特に若い世代に拉致問題は歴史ではなく、現在進行形の人権侵害かつ犯罪行為であることへの理解促進を図ることが重要であるとの認識の下、内閣官房拉致問題対策本部及び文部科学省から「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品等の活用促進について」（令和3年4月23日）が発出されました。児童生徒が拉致問題について深く認識し、人権問題として考える契機とするため、アニメ「めぐみ」の学校等における上映を促進するように、都道府県教育委員会を通じて学校等の関係機関に周知することが求められたところです。大阪府教育委員会においても、「府立学校に対する指示事項」に日本人拉致問題に関する理解を深める取組みとしてアニメ「めぐみ」を事例紹介する取組みがされています。

よって、交野市議会は、アニメ「めぐみ」や「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」の視聴や、拉致問題関連書籍を読むこと等を通じて拉致問題を知り、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組みを推進します。

以上、決議します。

令和4年3月28日

交野市議会